

事業報告書

令和2年度

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社京都府支部

目 次

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

はじめに

	ページ
1. 災害救護活動	2
2. 赤十字の各種講習	10
3. 赤十字奉仕団	12
4. 青少年赤十字 (JRC)	14
5. 医療事業	20
6. 健康相談など医療社会事業	23
7. 看護師の養成	23
8. 血液事業	24
9. 国際活動	25
10. 社員 (支援者) 増強と社資募集	27
11. 赤十字思想の普及・広報活動	29
(資料) 令和2年度の主な行事	31
表彰	32
役職員名簿	33
評議員名簿	34
日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図	35
施設一覧	36

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

災害救護体制の充実強化



京都府
支部で行われた
災害対策本部
訓練



第八管区
海上保安本部
巡視船みうらと
兵庫県支部の
合同訓練を
見学

講習普及事業の強化



感染予防対策を
徹底した
救急法講習会

民生児童委員を
対象とした
防災セミナー



有功会事業



有功会
法人会員から寄贈
されたフェイス
マスクで実習する
看護学生

有功会
会員から小児病棟
入院児童に
クリスマスプレゼント
を配付



青少年赤十字(JRC)の育成



海外たすけあい
募金活動を行う
JRCメンバー

オンラインで
行われた
青少年赤十字
国際交流事業



赤十字奉仕団の活動



新型コロナ
ウイルスに関する
ガイドブックを
配布する赤十字
奉仕団

青年
赤十字奉仕団が
ステイホームを
呼びかける動画を
作成



医療事業の推進



新型
コロナウイルス
感染症患者を
受け入れるため、
施設内の立入を
制限

新型コロナウイルス
感染症患者の
治療にあたる職員



血液事業の推進



献血バスの配車
(うじ安心館)

献血の様子
(献血ルーム四条)



はじめに

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、支部並びに各施設ともに各種事業の実施がかなわず、また、経営面においても大変厳しい状況となりました。各病院におきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、京都府等の要請を受け、クルーズ船へのDMATの派遣、帰国者・接触者外来の開設、感染患者の受け入れ等職員一丸となって対応いたしました。また、京都府赤十字血液センターにおいても、各種行事が自粛される中で、献血者の確保に尽力しました。

このような対策をとる一方で、近年、自然災害が激甚化していく中で、昨年7月の熊本豪雨災害など災害時における救護活動をはじめ、地域の中核医療機関として質の高い医療の提供、安全で安定的な血液製剤の需給管理に努めるなど、支部、各病院並びに血液センターが一体となって、府民の皆様から信頼される赤十字活動の推進を図ってまいりました。

このように、赤十字が迅速な救護活動に取り組むことができますのも、ひとえに皆様の温かいお支えの賜物であり、改めて深く感謝を申し上げます。

世界に目を向けても、自然災害、紛争、テロ、新型コロナウイルス感染症等により、人間のいのちや健康、尊厳が脅かされる危機的な状況が続いており、赤十字の人道支援の役割はますます大きくなっております。

京都府支部では、引き続き、大規模災害の発生等に備え、迅速かつ機動的な救護活動を展開するための資器材の整備や訓練の実施等による災害対応力の強化、防災教育事業（赤十字防災セミナー）や救急法等の各種講習の開催、青少年赤十字の育成等に当たり、万全の感染症対策を取りつつ、赤十字ボランティアの皆様と共に積極的に取り組みを展開してまいります。

また、京都府支部庁舎の移転新築につきましては、公募型プロポーザル方式により設計監理者の選定を行い、4月30日付けで設計監理業務委託契約を締結しました。今後、基本設計・実施設計を進め、令和5年度秋頃の新庁舎竣工、移転に向けて、着実に建設事業を進めてまいります。

時代が変遷しても、一貫して変わらぬ日本赤十字社の使命「人道の実現」を達成するため、今後とも、支部、各病院、血液センターが一丸となって、赤十字事業の推進に全力で取り組んでまいります。皆様のなお一層の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 災害救護活動

(1) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるよう、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班を15班編成するとともに、血液センターにおいては血液供給班を編成するなど、有事に備える体制を構築しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員の任命状況については次の通りです。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	2	11	0	13	災害対策本部要員
京都第一日赤	18	25	11	13	75	常備救護班要員
京都第二日赤	6	23	11	8	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	27	59	44	22	152	

※京都第一日赤及び京都第二日赤の常備救護班要員には、日本DMATと京都DMATの登録者を含んでいます。



救護班要員の訓練の様子

(2) 防災ボランティア団体等の状況

京都府支部における防災ボランティア団体としては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して平成8年1月に発足した、「赤十字レスキューチェーン京都」があり、有事の際に実働し得る団員を確保するためメンバーの増員を図るとともに、特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録するなど、支部における防災ボランティアの活動基盤の構築と発展に努めています。

○赤十字レスキューチェーン京都 支会別団員数（令和3年3月31日現在）

支会名称	団員数
舞鶴支会	4
福知山支会	10
亀岡支会	14
京都支会	16
長岡京支会	9
宇治支会	12
合計	65

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

令和2年度特殊救護要員登録者数	19
-----------------	----



日赤職員と共に訓練を行う
レスキューチェーン京都の団員

(3) 救護員等の訓練、研修

京都府支部では、救護体制及び技術の向上に努めるため、京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者数
第4ブロック合同災害救護訓練	6/20	奈良県田原本町立中央体育館 他	※中止
京都府総合防災訓練	8/30	京丹後市	※中止
福知山市地域防災訓練（医療救護訓練中止）	8/30	福知山市	0
京都市総合防災訓練	9/5	京都市	※中止
宇治市総合防災訓練	9/6	宇治市	※中止
第八管区海上保安本部巡視船みうらと兵庫県支部の合同訓練見学	9/24	舞鶴港	2
長岡京市防災訓練	10/24	長岡京市	※中止
京都刑務所総合防災訓練		山科区（京都刑務所）	※中止
京都府原子力総合防災訓練（訓練アドバイザー）	11/29	福知山市三段池公園	1
支部管内合同災害救護訓練	2/27	伏見区（京都府赤十字血液センター）	※中止
合計			3

※新型コロナウイルス感染拡大により中止



京都府原子力総合防災訓練
アドバイザー（福知山市三段池）

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
救護班要員基礎研修	5/9	京都第一赤十字病院	※中止
京都府支部災害対策本部訓練	5/19	京都府支部	13
救護班要員基礎研修	10/1～1/31	Web（オンデマンド）形式	43
救護員としての赤十字看護師研修（こころのケア研修）	10/21	舞鶴赤十字病院	13
こころのケア指導者養成研修	11/15～17	本社Web（オンライン）形式	2
救護員としての赤十字看護師研修（救急法）	11/20～22	舞鶴赤十字病院	5
日本赤十字社原子力災害対応基礎研修	11/21～22		※中止
日赤災害医療コーディネーター研修会	12/12～13	日本赤十字社本社	※中止
全国赤十字救護班研修	1/10～12 2/20～22	日本赤十字社本社	※中止
こころのケア研修	3/6	京都第一赤十字病院Web（オンライン）形式	14
合計			90

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会場	参加者数
第4ブロック救護員指導者協議会	4/23	奈良県人権センター	※中止
支部救護員指導者協議会（第1回）	7/27	京都府支部	21
支部救護員指導者協議会（第2回）	10/6	京都府支部	20
第4ブロック救護員指導者協議会	12/9	日赤兵庫県支部災害救護支援センター	5
支部救護員指導者協議会（第3回）	1/19	京都府支部	14
第4ブロック救護員指導者協議会	2/16	Web（オンライン）形式	6
合計			66

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

(4) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

京都府支部では、受講者に対して災害への備えや非常時の心構え等を紹介するとともに、災害時における赤十字の活動について知ってもらうため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、地域における啓発活動の一つとして位置付けられており、地区・分区や社会福祉協議会、自治会等において積極的に展開しています。

①赤十字防災セミナー

内容	実施日	場所	参加者
災害への備え	11/5	日本赤十字社京都府支部	3
	11/19	京田辺市立北部住民センター（とうちく）ホール	23
	12/21	元新道小学校第一会議室	14
	3/16	城陽市立福祉センター	27
合計			67

②日本赤十字社防災教育事業における支部指導者数

	職員	ボランティア
日本赤十字社防災教育事業における指導者数	8	2



赤十字防災セミナーの様子

(5) 救護、救援活動派遣実績

令和2年7月初旬から熊本県を中心に西日本から東日本にかけての広範囲を猛烈な雨が襲いました。新型コロナウイルス感染症への対策が求められる中、甚大な被害を受けた熊本県人吉市に京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院から合計11名の職員をDMAT（災害派遣医療チーム）として派遣しました。

①災害救護、救援活動の派遣実績

内容	実施日	場所	派遣人員
令和2年7月豪雨	7/7～7/9	熊本県人吉市	4
令和2年7月豪雨	7/11～7/13	熊本県水俣市	6
令和2年7月豪雨	7/19～7/21	熊本県人吉市	1
合計			11

②イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内容	実施日	場所	派遣人員
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市（保津川河川敷）	※中止
宇治福祉まつり	11/1	宇治市（宇治市総合福祉会館）	※中止
宇治川マラソン大会	2/28	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	※中止
合計			0

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

(6) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	5	支部、第一、第二（2台）、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	4	

除染	除染設備(テント)	2	除染設備一式、特殊防護服 4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服(レベルC)	18	
テント	エアー	3	27張は地区・分区に配備
	パラソル	39	
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器(AED8台を含む)		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		17	3台はドラッシュテント用
担架(特殊を含む)		28	
衛星通信機器(車載用2台を含む)		11	
無線機	150MHz	32	京都DMATとの通信用
	410MHz	26	
	簡易業務無線	7	

※この他に、除染設備(テント)一式及び特殊防護服(レベルC)4着が京都第一、京都第二赤十字病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(7) 災害救護用備蓄倉庫

地域	設置場所	形状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	京都第二赤十字病院所有地内	建物内
	日赤京都救護活動センター(京都府赤十字血液センター内)	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター敷地内	コンテナ倉庫
	精華町地域福祉センターかしのき苑敷地内	コンテナ倉庫

(8) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、毛布・緊急セット等の救援物資を府内全市町村の地区・分区に備蓄しているほか、災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況（京都府内分）

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数	緊急セット 配分数	安眠セット 配分数	タオルケット 配分数
	世帯数	人員				
住家全焼	18	39	21	16	17	3
住家全壊	1	1	3	1	1	0
住家流出	0	0	0	0	0	0
住家半焼	14	29	12	7	6	0
住家半壊	0	0	0	0	0	0
住家床上浸水	1	2	1	1	1	0
避難所	4	7	21	7	7	0
その他	12	25	10	7	9	1
合計	50	103	68	39	41	4

②救援物資の備蓄状況

場所	毛布（枚）	緊急セット（個）	安眠セット（個）	タオルケット（枚）
支部等の倉庫	5,470	2,610	1,088	2,869
地区・分区	1,864	881	799	926
合計	7,334	3,491	1,887	3,795

(9) 災害死亡見舞金の贈呈

令和2年度は、火災などの災害により死亡された10名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(令和3年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

9件 10名 200,000円（1名あたり 20,000円）

(10) 国内災害義援金

(令和3年3月末現在)

区分	京都府支部		
	令和2年度受付分		受付開始からの累計額
東日本大震災	22件	10,425,235円	1,560,044,544円
平成28年熊本地震災害	4件	237,022円	109,829,473円
平成29年7月5日からの大雨災害	1件	1,762円	11,902,423円
平成30年7月豪雨災害	0件	0円	57,672,703円
令和元年8月豪雨災害	5件	21,923円	165,615円
令和元年台風第15号千葉県災害	0件	0円	461,889円
令和元年台風第19号災害	9件	51,934円	5,233,220円
令和2年7月豪雨災害	30件	2,368,495円	
令和3年2月福島県沖地震災害	4件	28,692円	
合計	75件	13,135,063円	

2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習				短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数				
救急法	7	138	0	0	41	934	48	1,072
水上安全法			0	0	4	90	4	90
健康生活支援講習			0	0	14	251 (134)	14	251
幼児安全法			0	0	35	371	35	371
合計	7	138	0	0	94	1,646	101	1,784

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※()内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

(1) 救急法等 (救急法・水上安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	5	47	78	130
水上安全法	0	0	19	19

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字救急法講師研修会	3/1～19	Web (オンデマンド) 形式	2
赤十字水上安全法指導員研修会	3/20～28	Web (オンデマンド) 形式及び 京都府支部※	19
赤十字救急法指導員研修会	3/20～28	Web (オンデマンド) 形式及び 京都府支部※	130

※Web (オンデマンド) 形式での受講が難しい指導員向けに京都府支部で実施 (3/20・21)

(2) 健康生活支援講習等 (健康生活支援講習・幼児安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
健康生活支援講習	2	21	3	26
幼児安全法	2	17	6	25

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字幼児安全法講師研究会	8/3	Web (オンライン) 形式	1
赤十字健康生活支援講習・幼児安全法講師 研修会	3/1～19	Web (オンデマン ド) 形式	2
赤十字健康生活支援講習指導員研修 (ボラ ンティア指導員のみ)	3/12	京都府支部・Web (オンライン) 形式	5
赤十字健康生活支援講習指導員研修	3/16	舞鶴赤十字病院	5
赤十字幼児安全法講習指導員研修	3/16	舞鶴赤十字病院	4
赤十字健康生活支援講習・幼児安全法指導 員合同研修	3/16	京都第二赤十字病院	10

赤十字幼児安全法指導員研修（血液センター職員、ボランティア指導員合同）	3/17	京都府支部・Web（オンライン）形式含む	7
赤十字幼児安全法講師研究会	3/18	Web（オンライン）形式	1
赤十字健康生活支援講習・幼児安全法指導員合同研修	3/19	京都第一赤十字病院	7

3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

（1）奉仕団登録状況

区分	団数	分団数	人数	備考
地域奉仕団	14	219	2,444	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	260	赤十字京都ユース20名 京一・京二看護学生奉仕団240名
特殊奉仕団	2	—	87	赤十字レスキューチェーン京都 65名 青少年赤十字賛助奉仕団 22名

（2）奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者数
赤十字無線救護奉仕団第4ブロック連絡協議会役員会	4/11	大阪府支部	※中止
第4ブロック合同災害救護訓練	6/20	奈良県田原本町立中央体育館 他	※中止
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市	※中止
京都府総合防災訓練	8/30	京丹後市	※中止
京都市総合防災訓練	9/5	京都市	※中止
宇治市総合防災訓練	9/6	宇治市	※中止
宇治福祉まつり	11/1	宇治市	※中止
支部管内合同災害救護訓練	2/27	伏見区（京都府赤十字血液センター）	※中止

宇治川マラソン大会	2/28	宇治市	※中止
第32回車いす駅伝競走大会	3/13～14	国立京都国際会館他	※中止
合計			0

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

②赤十字京都ユース(RCY)

行事名	実施日	会場	参加者数
青年赤十字奉仕団全国協議会	5/16～17	Web（オンライン）形式 開催	1
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	7/11～12	あうる京北（京都府立 ゼミナールハウス）	※中止
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	8/23	京都府支部	※中止
AIDS文化フォーラムin京都	10/11	YouTubeライブ配信	0
ネットでどこでも！府民交流フェスタ	1/6～3/21	Web（オンライン）形式 開催	0
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/28	Web（オンライン）形式 開催	6
第32回全国車いす駅伝競走大会	3/13～14	国立京都国際会館他	※中止
合計			7

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

③青少年赤十字賛助奉仕団

行事名	実施日	会場	参加者数
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	8/31	文書審議	—
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	11/10～11	文書審議	—
新型コロナウイルス感染症オリジナルソング配信動画撮影・取材	7/16	京都府支部	4
第4ブロック支部青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/22～23	和歌山	※中止

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所（活動内容）	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	4	24

※新型コロナウイルス感染症の影響により4月以降の取組中止

(4) 赤十字奉仕団支部指導講師の活動状況

①支部指導講師 3名

②活動状況

活動内容	実施日	会場	参加者数
講演「感染症流行時においても全ての人々に人間の尊厳を～Dignity for all～」	7/17	宇治市立南宇治中学校	92
令和2年度青少年赤十字研究会事前研修	1/8	京都府支部	※中止

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

4. 青少年赤十字 (JRC)

将来を担う青少年の一人ひとりが、世界的視野とたくましい行動力を持って、世界の平和と人類の福祉に貢献できるような人間に育ててほしいということはみんなの願いです。

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を育て上げるよう学校教育の中で先生が指導者となって進められています。

(1) 加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数	17	188	6	6	217
メンバー数	1,336	67,800	2,887	114	72,137

(2) リーダーシップ・トレーニング・センター

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年8月1日(土)～3日(月)に実施を予定していた京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターは中止しました。

(3) 国際交流事業

①京阪神支部合同青少年赤十字国際交流事業

令和2年度から大阪府、京都府及び兵庫県の3支部合同によるマレーシア赤新月社ジョホールバル支部との国際交流事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

②青少年赤十字国際交流事業（本社主催）

青少年赤十字メンバーの国際理解・親善を図ることを目的に、隔年で海外メンバーを日本に招聘し国際交流集会を開催しており、令和2年度は当該事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりWeb会議形式に変更して事業を実施

開催日 令和2年11月15日（日）11：00～15：00

参加者 日本（各都道府県のJRC高校生メンバー）及び17の国と地域から501名が参加

※京都府支部からは、華頂女子高等学校、京都府立嵯峨野高等学校及び京都府立北嵯峨高等学校のJRCメンバー8名、顧問3名が参加



オンラインミーティングによる国際交流事業

(4) 青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容	学校
<p>「健康・安全」 自分の命を大切にする子どもの育成 ～遊びを通して育む健康で安全な態度を養う～</p> <p>○健康な生活リズムを身に付けるように保護者と連携しながら取り組む。 早寝早起き・うがいや手洗い・熱中症対策・新型コロナウイルス感染防止対策・咳エチケット・食育等</p> <p>○安全について理解を深め、避難訓練などを通して非常時の身の守り方を知る。防災教材「ぼうさいまちがいさがし『きけんはっけん!』」を活用</p>	<p>京都市立 西院幼稚園</p>
<p>「健康・安全」 仲間と共に 心豊かに やさしく たくましく 生きる子ども ～With コロナの世界で～</p> <p>○基本的な生活習慣を家庭と連携しながら、遊びや生活を通して意識や意欲を高め、身につくようにする。とりわけ、新型コロナウイルス感染症に対する備えには重点的に取り組む。</p> <p>○日常的な遊びや活動の中での指導や定期的な訓練等を通して、身の回りの危険や安全な生活に対する理解を深めると共に、災害時に適切な行動がとれるようにする。</p>	<p>京都市立 京極幼稚園</p>
<p>「健康・安全」 コロナ時代における小学校の衛生管理</p> <p>○子どもたちに、手洗い・手指消毒の大切さを理解させ、行動できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染は、接触感染と飛沫感染が原因であることを知る。 ・手洗い・手指消毒・マスクの必要性を知る。 ・手洗いチェッカーを使い、手の汚れを知る。 ・正しい手洗いの仕方を知る ・日常的に手洗い・手指消毒の大切さを注意喚起していく。 	<p>京都市立 養正小学校</p>

(5) 防災教育プログラム

防災学習の取組み（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
京都府立嵯峨野高等学校 JRC部	10月 11月	避難所HUG、いえまですごろく
京都市立京極幼稚園	9/17 1/15	ぼうさいまちがいさがし『きけんはっけん!』を活用 水害及び地震を想定した避難訓練
京都市立金閣小学校	2/2	ぼうさいまちがいさがし『きけんはっけん!』を活用 1年生対象の防災教育授業
宇治市立南宇治中学校	2/12	1年生対象の防災学習
京都市立西院幼稚園	2/22	ぼうさいまちがいさがし『きけんはっけん!』を活用
京都市立乾隆幼稚園	3/11	ぼうさいまちがいさがし『きけんはっけん!』を活用



京極幼稚園



西院幼稚園



乾隆幼稚園

(6) 高校生の献血セミナー

学校名	実施日	会場	参加者数
京都府立鳥羽高等学校による献血の学習	10/9	血液センター	11
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	12/19	Web会議形式	32
京都府立北嵯峨高等学校JRCメンバー	3/29	献血ルーム四条	5



鳥羽高校生の血液センター訪問



高校生メンバー協議会

(7) 活動状況

学校名	活動内容	実施時期
京都府立鳥羽高等学校	赤十字活動資金募集	7月、9月
	NHK海外たすけあい募金	12月
京都府立嵯峨野高等学校	令和2年7月豪雨災害義援金募集	7月
京都府立北嵯峨高等学校	赤十字活動資金募集	9月
華頂女子高等学校	NHK海外たすけあい募金	11月



鳥羽高校



北嵯峨高校



華頂女子高校

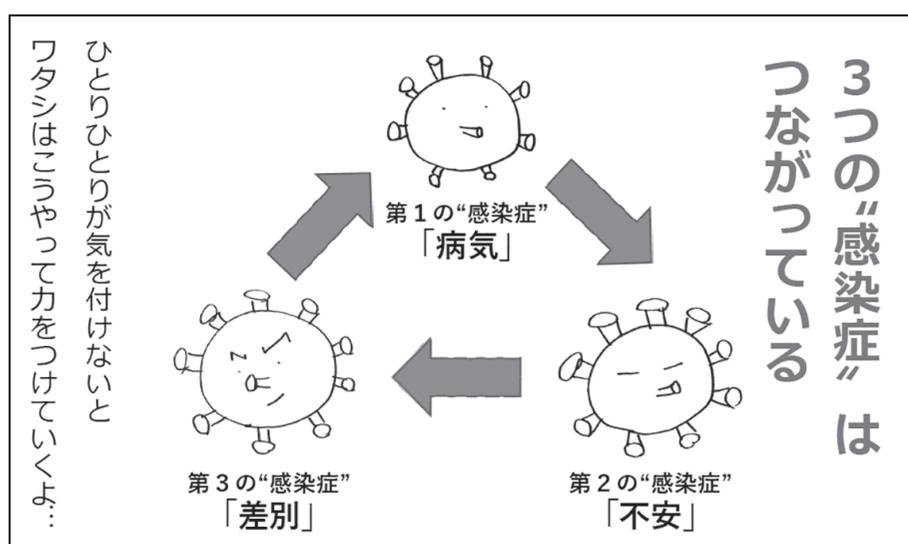
(8) 活動状況

行事名	実施日	開催形態等	参加者数
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	中止		—
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	文書審議		—
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	7/18	Web会議	51
青少年赤十字第4(近畿)ブロック支部指導者研修会	中止		—
全国青少年赤十字指導者協議会役員会・総会	9/11	Web会議	3
京都府青少年赤十字高校顧問会議	9/25	京都府支部・Web会議	7
子ども体験教室(ふれあいバスケット)	中止		—
京都府立北嵯峨高等学校JRC部勉強会	11/12	Web会議	9
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	12/19	Web会議	32
青少年赤十字研究会	1/8	Web会議	2
京都市青少年赤十字研究会による防災授業	中止		—
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	3/2	Web会議	16

行事名	実施日	開催形態等	参加者数
青少年赤十字スタディー・プログラム	3/20	Web会議	14

(9) 日本赤十字社が提供するコロナ関連教育教材について

日本赤十字社が作成したガイドブック『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～』やアニメーション『ウイルスの次にやってくるもの』は、各学校において授業等で活用したほか、保護者へのお便りやホームページに掲載していただきました。



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～



ウイルスの次にやってくるもの

5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

① 京都第一赤十字病院

当院のビジョン「京都における最高の基幹病院を目指す！」のもと、令和2年度の主な目標は、4月の診療報酬改定に適切に対応し、緩和病棟・がんセンター構想、働き方改革及び経費削減を進めることでした。

実際には、新型コロナの対応で明け暮れた1年となり、4月7日よりC4病棟（52床）を18床のコロナ専用病棟とするとともに、ICUでの受入れを4床まで増やしました。

しかし、4月・5月合わせて4億円を超える赤字を出すに至り、6月22日に「病院経営非常事態」を宣言しました。概要は、コロナ禍での患者確保の新たな目標設定、不要不急の事業の見直しや施設整備投資の一時凍結、経費の削減、助成金獲得などでした。

但し、冬場の第三波到来および年末年始の院内クラスター発生のため目標達成には至らず、結果として、新入院患者数14,034人（前年度比-2,335人）、救急経由入院数3,680人（前年度比-874人）、病床稼働率74.9%（前年度比-11.1%）、総手術件数5,092件（前年度比-527件）と大幅に減少し、入院診療単価は92,218円（前年度比+8,669円）と増加したものの、医業収支は約5億円の赤字となりました。

コロナ診療については、陽性者の入院患者数124名、疑似症の入院患者数162名の実績を上げ、これらは病床確保補助金などの対象となり、多くの補助金を獲得して、総収支では約15億円の黒字を計上することとなりました。コロナ診療については、現場スタッフに大きな負担と不安を強いるものでありましたが、皆さまのご理解とご支援のお陰で遂行できたことを心より感謝申し上げます。

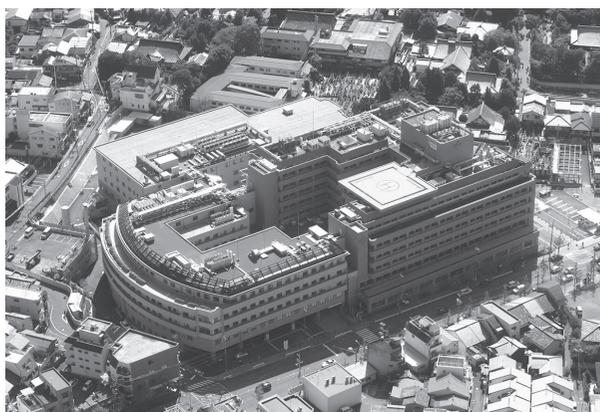
令和3年度は、今後、コロナ禍で景気後退し大幅な増収が期待できない中で、AFTERコロナを見据えた診療体制・病床再編成、働き方改革への取り組みが課題になるかと思えます。

コロナの収束は見通せず長期化が予想される中、当院の基幹事業である救急・周産期医療、がん診療とバランスをとりながら、地域の基幹病院として、使命を果たしていく所存です。

② 京都第二赤十字病院

令和2年度においては、医業収益207億58百万円、医業費用211億64百万円で、医業収支は4億6百万円の赤字となった一方で、総合収支は9億82百万円の黒字となったところであります。

この間、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、病院長による「院内緊急事態宣言」の下、



京都第一赤十字病院

地域医療の最後の砦である高度急性期病院として、これまでの救急患者に加え、重症の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるなど、府民の命を守るため、病院職員が一丸となって取り組んできたところであります。

その結果、入院診療単価は 86,573 円（対前年比 6,022 円増）、外来診療単価は 19,238 円（対前年比 3,115 円増）と改善する一方で、手術の抑制や外来・入院患者数の減少、人間ドックの一時停止など、極めて厳しい状況に直面する中で、医業収支は大幅な減収となったものであります。

一方で、多くの個人・団体からの御支援、行政からの新型コロナウイルス感染症関係の補助金等により、総合収支が黒字となる中、新棟建設資金の積み増しができたところであります。今年度は、新入院患者数の回復による収益増や予算管理の徹底による費用の適正化に取り組むこととしております。

様々な苦難が山積する中ではありますが、開雲見日、当院の悲願である新棟建設の実現に向け、引き続き全力で邁進してまいります。

③ 舞鶴赤十字病院

医師については、休職からの復帰者が1名、加えて内科専攻医が上半期のみ1名従事者があり、昨年度よりも診療体制を充実することが出来ました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出等の影響で、患者が減少し、4月、5月においては大変厳しい経営状況でありました。

そんな中、6月には、帰国者・接触者外来を設置、また、感染症疑似症対応医療機関に指定される等、微力ではありますが新型コロナウイルス感染症の診療に貢献することができました。

下半期においては、医師を中心に各職員の奮起により患者数が回復したことも重なり、毎月黒字を計上することができました。

新型コロナウイルスは、未だ終息の目途が立ちませんが、引き続き市内の公的病院と連携を保ちながら対応していく所存であります。

当院は、急性期100床、地域包括ケア病床50床、回復期リハビリ病床48床を有する計198床の小規模な医療施設であります。人口減少が進む中、病床再編も視野に入れ、地域にマッチしたバランスのとれた医療機能の分化と連携を推進し、赤十字病院として存在感を高め、良質な医療を提供できるよう努めてまいります。



京都第二赤十字病院



舞鶴赤十字病院

医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数 (人)				入院患者数 (人)		外来患者数 (人)	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	652	598	リウマチ内科、内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、泌尿器科、外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児内科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科、	246	715	376	1,337	163,561	448	276,601	1,148
京都第二赤十字病院	667	546	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	322	756	449	1527	157,964	432.8	280,611	1,159.5
舞鶴赤十字病院	198	198	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	15	130	120	265	52,847	144.8	80,707	334

注) 病床数・職員数は令和3年3月31日現在、患者数は令和2年度実績

6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	9	9	5	6	0	11
京都第二赤十字病院	6	39	1	45	0	46
舞鶴赤十字病院	16	16	0	18	1	19
合計	31	64	6	69	1	76

7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数（令和3年3月31日現在）

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	39 (0)	43 (3)	38 (3)	120 (6)
京都第二赤十字看護専門学校	40 (0)	38 (3)	42 (2)	120 (5)
合計	79 (0)	81 (6)	80 (5)	240 (11)

() は男子学生の内数です。

(2) 進路等の状況（令和2年度）

学校名	所属病院	進学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	33	3	1	37
京都第二赤十字看護専門学校	32	0	10	42
合計	65	3	11	79

8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、令和2年度献血者数は115,567人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご協力を呼び掛けるために、献血会場での新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底すると共に、献血Web会員サービス（ラブラッド）の会員登録を推進して、献血予約を拡充し、ご協力いただきやすい環境づくりに取り組んでいます。

(1) 令和2年度 献血状況

献血方法別	京都府		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
血漿献血	25,886	22.4	1,119,352	22.2
血小板献血	13,139	11.4	548,463	11.0
400mL献血	75,482	65.3	3,246,688	64.4
200mL献血	1,060	0.9	123,417	2.4
合計	115,567	100.0	5,037,920	100.0

(2) 令和2年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全血	0	0.0	38	0.0
赤血球	145,817	34.4	6,362,679	37.1
血漿	56,278	13.3	2,102,827	12.3
血小板	222,004	52.3	8,667,435	50.6
合計	424,099	100.0	17,132,979	100.0

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものの。



献血バス車内の様子



献血ルーム待合室の様子（献血ルーム四条）

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていただく若年層（特に小中高生）の方々を対象とし、夏休み期間等を利用した「青少年献血ふれあい事業」については、新型コロナウイルス感染症防止のため実施を見合わせましたが、感染防止対策の環境が整った小学校や高校等では「献血セミナー」を開催し、将来の献血者確保に努めています。

献血者が減少しがちな冬季においては、安全な血液製剤を安定的に確保するため、1～2月に「はたちの献血キャンペーン」が全国的に展開されました。京都府でも、京都府学生献血推進協議会メンバーが、将来の献血を支える「はたち」の若者を中心に広く府民に献血への理解と協力を求めました。



学生献血推進協議会によるキャンペーン
(イオンモール久御山)



献血セミナーの様子

9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として世界各国の赤十字社・赤新月社192社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社はお互いに協力し合いながら活動を続けていますが、京都府支部としても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

①海外救援金

(令和3年3月末現在)

区分	京都府支部		
	令和2年度受付分	受付開始からの累計額	
中東人道危機	5件	1,012,110円	1,067,110円
バングラデシュ南部避難民	47件	886,000円	900,000円
海外救援金(無指定)	101件	2,457,000円	2,628,600円
合計	153件	4,355,110円	

②「第38回NHK海外たすけあい」寄付金

(期間 令和2年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府	全国
支部	825,329 円	45,305,681 円
NHK	258,861 円	25,195,568 円
銀行等	67,335 円	20,547,178 円
本社(郵便局含む)		659,339,756 円
合計	1,151,525 円	750,388,183 円

③青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

(2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、カンボジア赤十字社・ミャンマー赤十字社・東ティモール赤十字社に対して救急法等の講習普及支援を平成16年度から実施しています。この事業は、各支援対象赤十字社に全国の赤十字救急法指導員をスタッフとして派遣し、概ね1～2週間程度の日程で救急法指導員研修会や指導員養成講習を行うとともに財政面の支援も行うものです。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から東ティモールへ救急法等指導員資格を持つ職員の派遣は行わず、東ティモール赤十字社に対して資金協力を行いました。



10. 社員（支援者）増強と社資募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動をたゆみなく続けていますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年、5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の積極的なご協力をいただいた結果、令和2年度は335,482,045円もの活動資金へのご寄付をいただきました。なお、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金募集につきましては、1,958件 12,713,459円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。また、ダイレクトメールによる活動資金募集においては、1,472件 39,426,939円のご寄付がありました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

(1) 活動資金収納状況 (各年度3月末現在)

区分		令和2年度	令和元年度	対前年度比較(%)
地区扱	京都市	111,658,396	107,485,385	103.9%
	府内14市	67,206,184	71,898,672	93.5%
	府内町村	12,360,835	13,129,531	94.1%
	小計	191,225,415	192,513,588	99.3%
支部扱い		144,256,630	493,614,272	29.2%
合計		335,482,045	686,127,860	48.9%

(2) 会員数 (※) (各年度3月末現在)

区分		令和2年度			令和元年度		
		個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区扱い	京都市	753	249	1,002	610	232	842
	府内14市	279	19	298	220	17	237
	府内町村	36	4	40	27	1	28
	小計	1,068	272	1,340	857	250	1,107
支部扱い		1,632	697	2,329	1,055	541	1,596
合計		2,700	969	3,669	1,912	791	2,703

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

(3) 社資功労表彰件数 (3月末現在)

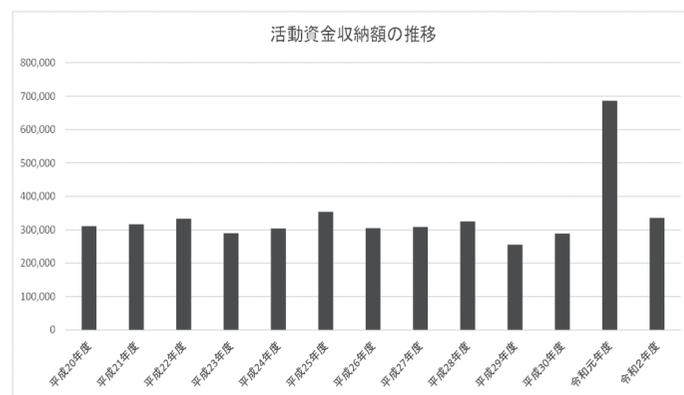
表彰名	件数
日本赤十字社長感謝状	11
金色有功章	16
銀色有功章	11
日本赤十字社京都府支部長感謝状	16

地区別実績額

京都市内 地区	金額
北 区	9,154,407
上京区	8,268,009
左京区	13,147,425
中京区	10,022,842
東山区	4,399,400
山科区	11,056,010
下京区	6,424,307
南 区	8,380,000
右京区	13,790,476
西京区	9,547,441
伏見区	17,468,079
合計①	111,658,396

広域振興局 地区	金額
山城(乙 訓)	908,012
山城(山城北)	2,997,833
山城(山城南)	3,729,360
南 丹	1,780,660
丹 後	2,944,970
合計③	12,360,835
地区計(①+②+③)	191,225,415
支部扱	144,256,630
合計	335,482,045

京都府内 地区	金額
宇治市	9,262,076
亀岡市	7,394,695
綾部市	2,291,895
福知山市	7,420,850
宮津市	1,712,750
舞鶴市	6,327,486
城陽市	4,889,028
向日市	2,640,718
長岡京市	4,079,625
八幡市	2,672,643
京田辺市	3,939,973
京丹後市	6,350,246
南丹市	3,991,165
木津川市	4,269,034
合計②	67,206,184



1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。令和2年度はコロナ禍により手探りで活動となりましたが、京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくための取組を行いました。

(2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	実施日	場所	備考
ひろげよう赤十字の輪(和)			中止
まいづる田辺城まつり	5/22	舞鶴市田辺城舞鶴公園	中止
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/3	京都府立植物園	中止
ネットでどこでも！府民交流フェスタ	1/6～3/21	特設サイト上で実施	Web形式

※上記以外にも地区独自で地域の催し等に啓発ブース等の参画が行われています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント（ふれあいまつり等）が中止されています。

(3) 広報活動の展開

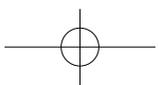
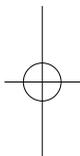
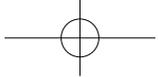
広報内容	期間	場所	備考
赤十字バナーの掲揚	4/13～6/9	七条通（支部前～川端通）	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R 西日本、京都市営地下鉄、京都丹後鉄道、阪急電鉄の各駅	
立て看板の設置	5/1～31	支部	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	4月、7月、12月	会員等に送付	
テレビCM	通年	K B S 京都、京丹波町ケーブルテレビ	

ラジオCM	通年	KBS京都、エフエム京都、 エフエム宇治、FMあやべ、 FMまいづる	
パネル展示	5/6～19	右京区役所	
	5/7～13	左京区役所	

(4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」着ぐるみ出動状況

名称	期日	場所	備考
北区「人権のつどい」	12/5	京都市北文化会館	
亀岡市民を対象とした動画講演	1/14	亀岡市立人権福祉センター	

資料



令和2年度の主な行事

評議員会

実施日	実施方法	議案
令和2年6月	文書審議	支部・施設の令和元年度決算等
令和3年2月	文書審議	支部・施設の令和3年度予算等

その他行事

実施日	内容	実施場所・実施形式等
5月1日(火)～ 5月31日(木)	赤十字運動月間	京都府内一円
5月19日(火)	京都府支部災害対策本部訓練	京都府支部
9月24日(木)	第八管区海上保安本部訓練見学	舞鶴港
10月1日(土)～ 1月31日(日)	救護班要員基礎研修	Web形式
10月21日(水)	有功会総会	文書審議
10月21日(水)	救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	舞鶴赤十字病院
11月15日(日)	青少年赤十字国際交流事業 (本社主催)	Web形式
11月15日(日)～ 11月17日(火)	こころのケア指導者養成研修	Web形式
11月20日(金)～ 11月22日(日)	救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	舞鶴赤十字病院
11月29日(日)	京都府原子力総合防災訓練(訓練 アドバイザー)	福知山市三段池公園
12月1日(火)～ 12月25日(金)	「NHK海外たすけあい」運動	京都府一円
12月12日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金 キャンペーン	京都市下京区
1月6日(水)～ 3月21日(日)	ネットでどこでも！府民交流フェスタ	Web形式
3月6日(土)	こころのケア研修	Web形式

表彰

表彰区分		表彰基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	4	1	5
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	8	1	9
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	5	6	11
	金 色 有 功 章	50 万円以上	10	6	16
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	7	4	11
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	8	8	16
	小計			42	26
役職	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	0	0	0
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	5	0	5
	小計			5	0
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	5	0	5
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	14	0	14
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	35	0	35
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数 10 年以上	25	0	25
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数 5 年以上	49	0	49
	小計			128	0

役職員名簿

(令和3年7月1日予定)

京都府支部

支 部 長	西 脇 隆 俊
副 支 部 長	小石原 範 和
〃	多々見 良 三
〃	汐 見 明 男
監 査 委 員	柏 原 康 夫
〃	武 田 盛 治
〃	渡 邊 隆 夫
顧 問	門 川 大 作
事 務 局 長	上 田 敏 勝
総 務 課 長	則 本 和 弘
組 織 振 興 課 長	加 藤 茂 樹
事 業 推 進 課 長	前 田 ゆかり

京都第一赤十字病院

院 長	池 田 栄 人
副 院 長	福 田 互
〃	塩 飽 保 博
〃	沢 田 尚 久
〃	中 島 路 子
事 務 部 長	岩 永 美 好
看 護 部 長 (兼)	中 島 路 子

京都第一赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	池 田 栄 人
副 学 校 長	小 林 尚 美
事 務 部 長 (兼)	岩 永 美 好

京都第二赤十字病院

院 長	小 林 裕
副 院 長	長 村 敏 生
〃	出 島 健 司
〃	魚 嶋 伸 彦
事 務 部 長	山 口 孝 司
看 護 部 長	小 川 智 恵 美

京都第二赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	小 林 裕
副 学 校 長	小 田 初 美
事 務 部 長 (兼)	山 口 孝 司

舞鶴赤十字病院

院 長	片 山 義 敬
副 院 長	米 山 聡 嗣
事 務 部 長	高 橋 裕 行
看 護 部 長	奥 野 佐 千 子

京都府赤十字血液センター

所 長	辻 肇
事 務 部 長	刀 祢 利 昭

評 議 員 名 簿

(令和3年6月1日現在)

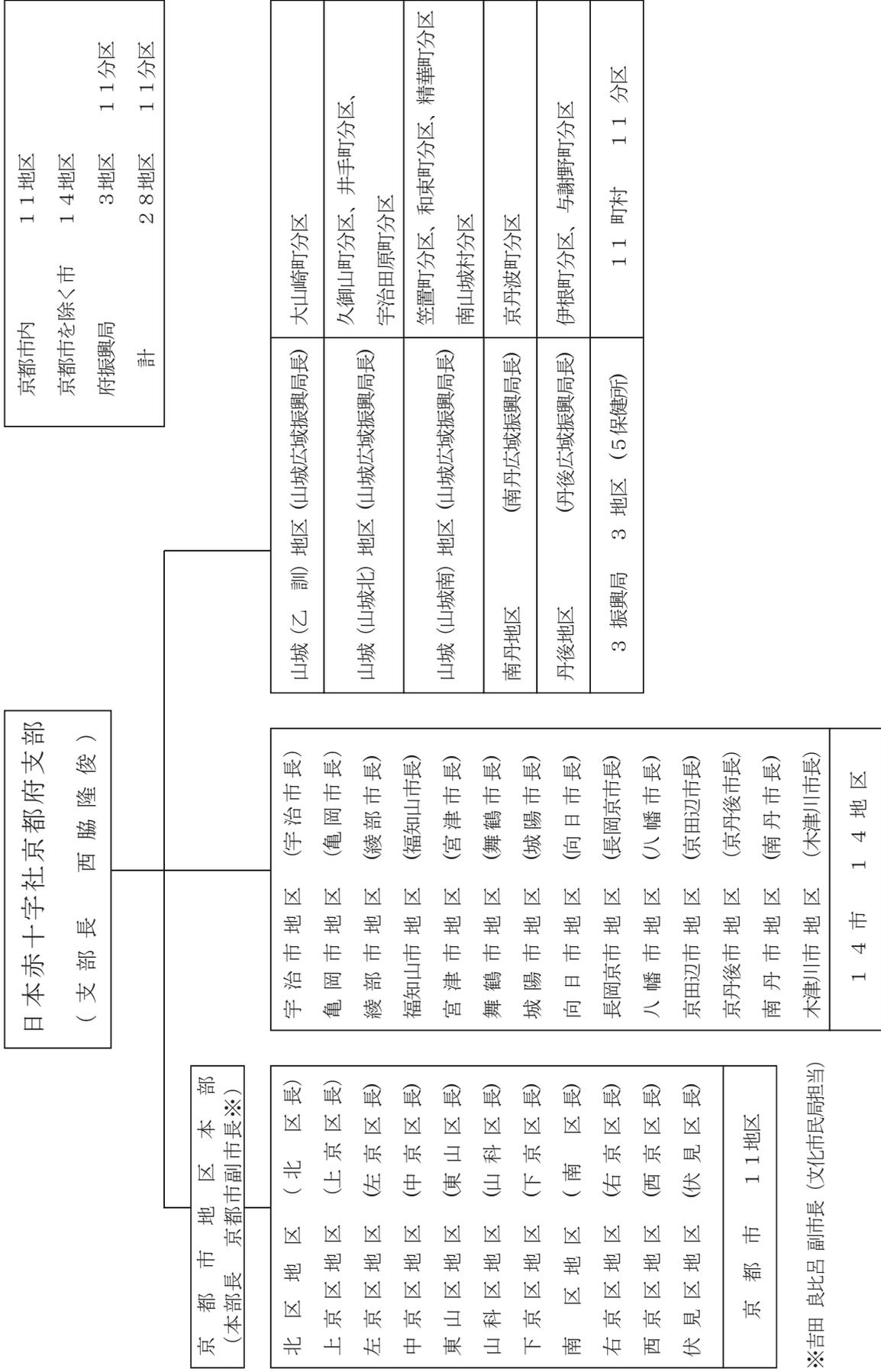
地区名等	氏名	地区名等	氏名
北 区	山 本 勝 保	福 知 山 市	大 橋 一 夫
	辻 和 男		土 田 康 輔
上 京 区	木 下 博 視	宮 津 市	城 崎 雅 文
	赤 井 英 俊	舞 鶴 市	多々見 良 三
左 京 区	戸 川 隆 博		倉 橋 貢
	風 間 隨 成	城 陽 市	奥 田 敏 晴
	平 賀 太 郎	向 日 市	安 田 守
中 京 区	山 科 文 子	長 岡 京 市	中小路 健 吾
	河 邑 明 佳	八 幡 市	堀 口 文 昭
東 山 区	高 垣 慶 嗣	京 田 辺 市	上 村 崇
	名 和 準 三	京 丹 後 市	中 山 泰
山 科 区	○◇澤 田 清 一	南 丹 市	西 村 良 平
	中 尾 力	木 津 川 市	河 井 規 子
下 京 区	勝 間 昇	山 城	前 川 光
	小川原 繁		信 貴 康 孝
南 区	石 原 國 男		西 谷 信 夫
	高 落 秀 男		杉 浦 正 省
右 京 区	市 田 悦 万	南 丹	太 田 昇 樹
	守 屋 忠 敏	丹 後	吉 本 秀 樹
西 京 区	関 谷 一 男	支 部 長 選 出	○◇今 井 民 雄
	田 畑 たつ子		◇加 藤 厚
伏 見 区	森 野 隆 男		◇菊 地 笑 子
	武 部 太 郎		◇奥 田 光 治
宇 治 市	松 村 淳 子		小 林 佑 年
	俣 政 和		川 部 松 夫
亀 岡 市	桂 川 孝 裕		豊 島 建 治
綾 部 市	山 崎 善 也		足 達 靖 彦
			阪 口 桂 子

(順不同・敬称略)

本社役員等：○理事 ◇代議員 定数58名 (現在数55名、欠員3名)

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

令和3年4月1日現在



※吉田 良比呂 副市長 (文化市民局担当)

施設一覧

■ 日本赤十字社京都府支部

〒605-0941

京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075(541)9326

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kyoto/>

■ 京都第一赤十字病院

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121

ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org/>

■ 京都第一赤十字看護専門学校

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269

ホームページ http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/

■ 京都第二赤十字病院

〒602-8026

京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL 075(231)5171

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>

■ 京都第二赤十字看護専門学校

〒602-8015

京都市上京区衣棚通出水下ル常泉院町133-3 TEL 075(441)2007

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>

■ 舞鶴赤十字病院

〒624-0906

舞鶴市字倉谷427 TEL 0773(75)4175

ホームページ <https://maizuru.jrc.or.jp/>

■ 京都府赤十字血液センター

〒612-8451

京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(603)8800

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>

四条出張所（献血ルーム四条）

〒600-8006

京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99四条SETビル5F

TEL 0120(640)388

京都駅前出張所（献血ルーム京都駅前）

〒600-8216

京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735京阪京都ビル6F

TEL 0120(569)356

伏見大手筋出張所（献血ルーム伏見大手筋）

〒612-8053

京都市伏見区東大手町763若由ビル1F TEL 0120(731)350

福知山出張所

〒620-0853

福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630

令和2年度事業報告書

発行 令和3年6月1日
発行元 日本赤十字社京都府支部
住所 京都府京都市東山区三十三間堂廻り町644
TEL 075-541-9326
FAX 075-541-1361

